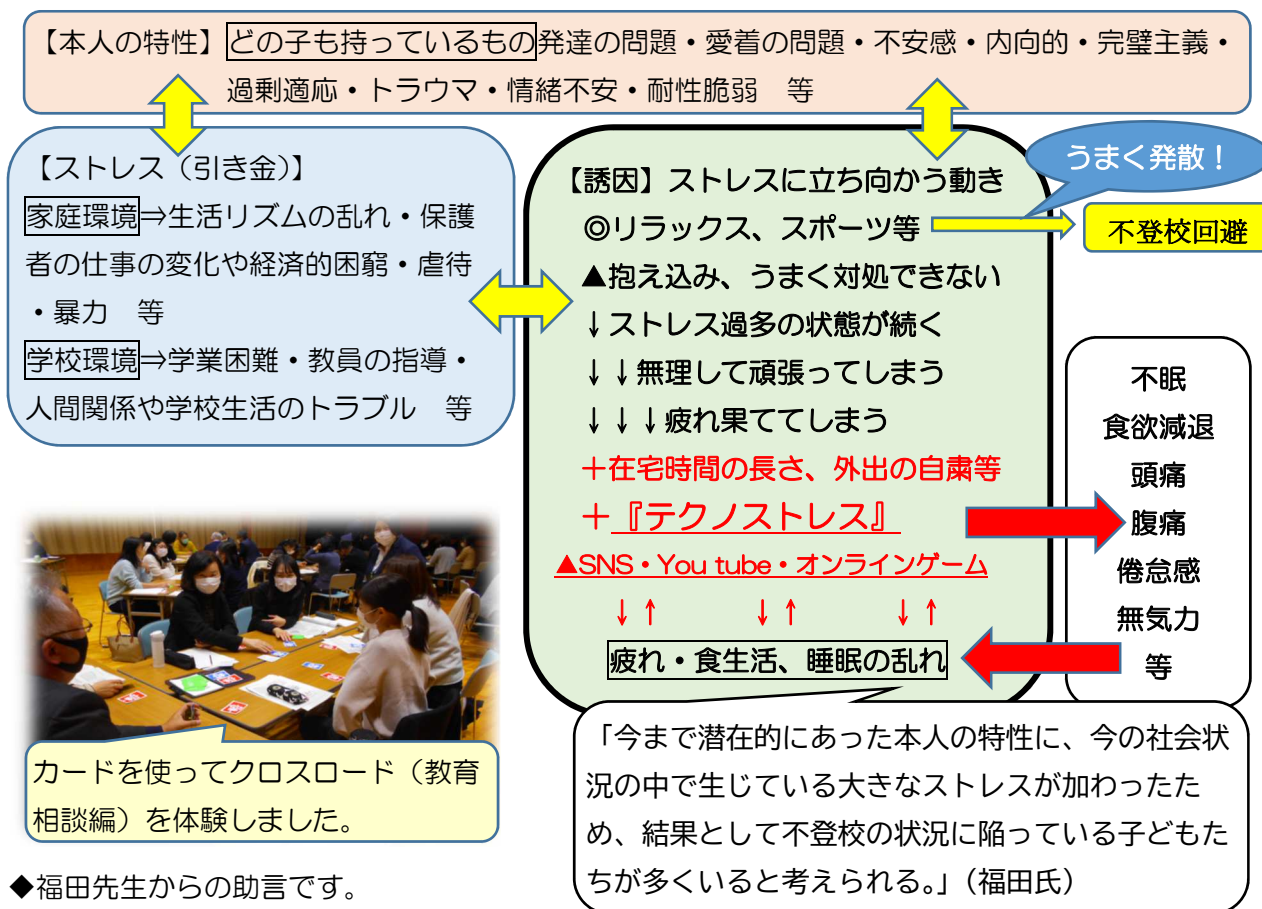




## 不登校児童生徒急増！その発症要因とストレスは？

◆不登校担当者研修会で、県立教育研修所心の教育総合センター指導主事 福田裕子氏から講義と演習を受けました。今年度、不登校児童生徒の急増は、豊岡市でも例外ではありません。講義の中で、その発症要因とストレスについてお話がありました。

子どもの不登校にはストレスが共通している ⇔ コロナ禍でストレスの引き金がふんだんにある



カードを使ってクロスロード（教育相談編）を体験しました。

◆福田先生からの助言です。

不登校未然防止に向けて大切にしたいこと

- ①誰が、何のために、どんな取組をするか整理すること。(学校が、保護者が、子どもが、)
- ②未然防止には子どもがソーシャルスキル(対人関係を円滑にするコミュニケーションスキル)やアサーションスキル(相手を尊重しながら自己の意見を伝えるコミュニケーションスキル)を身につけることが有効。
- ③テクノストレス(コンピュータに過度に適応、依存したことにより生じる精神的・身体的症状)は家庭で起きている。保護者に通信や研修会で啓発する必要あり。「コロナ禍だからこそ起こるんだ」ということを、保護者と学校が共有することが未然防止になる。
- ④コロナ禍で学校でできることは限界がきている。未然防止には、子ども、保護者を主語にした取組を進め、学校、保護者、子ども 絡ぐるみで、何ができるか一緒に考えること。

◆冬休みを挟んで、子どもが、保護者が取り組めることを、再度確認していきましょう。